

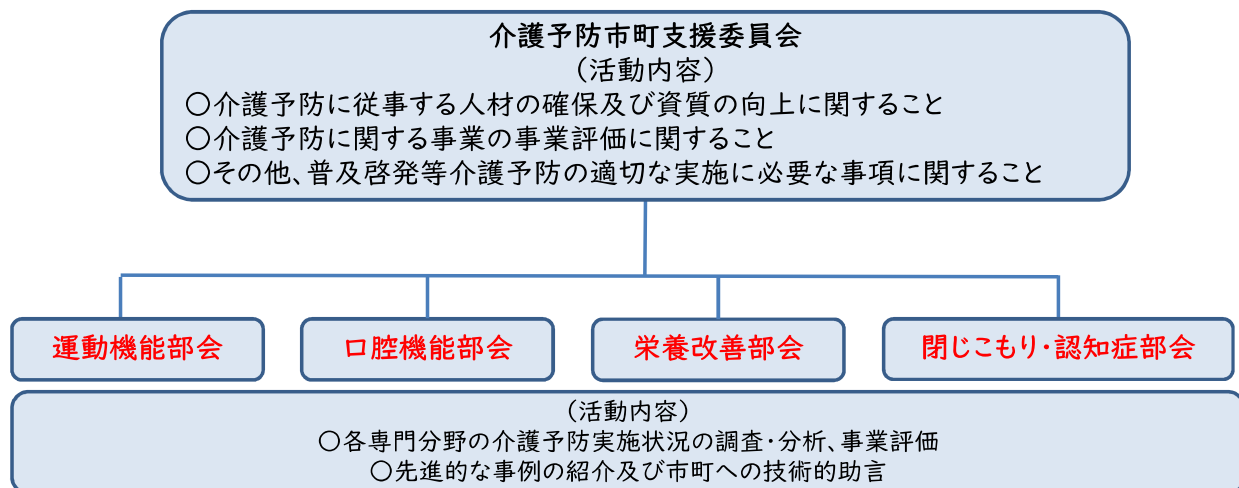
愛媛県介護予防市町支援検討会の 今後の活動について

令和7年1月29日

これまでの愛媛県介護予防市町支援委員会の活動について

H18・H19年度の活動

- 4つの専門部会（運動機能部会、口腔機能部会、栄養改善部会、閉じこもり・認知症部会）に分かれ、効果的なプログラムを示した「介護予防に関する指針」の作成、各市町での介護予防事業実態調査、介護予防事業評価報告書（先進事例集を含む）を作成。

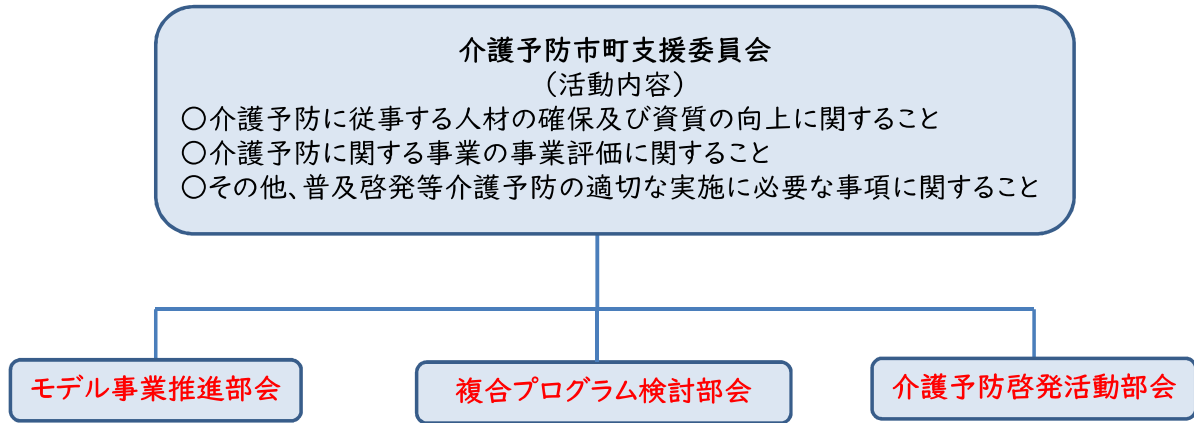


○H20・21年度:専門部会のテーマごとにワーキンググループを編成し、各市町での介護予防関連事業評価、効果的な複合プログラムの検討・作成・試行等の取り組みを実施
 ○H22年度:4部会合同で、松野町実施のモデル事業の支援、複合プログラム施行報告書及び先進介護予防事業事例集の作成等を実施

これまでの愛媛県介護予防市町支援委員会の活動について

H24・H25年度頃の活動

- 介護予防体操（愛媛の歌体操）及び愛媛県版介護予防複合プログラムを作成。
また、専門部会の枠を超えて、テーマごと（支援市町ごと）にワーキンググループを編成しモデル事業の支援を実施。

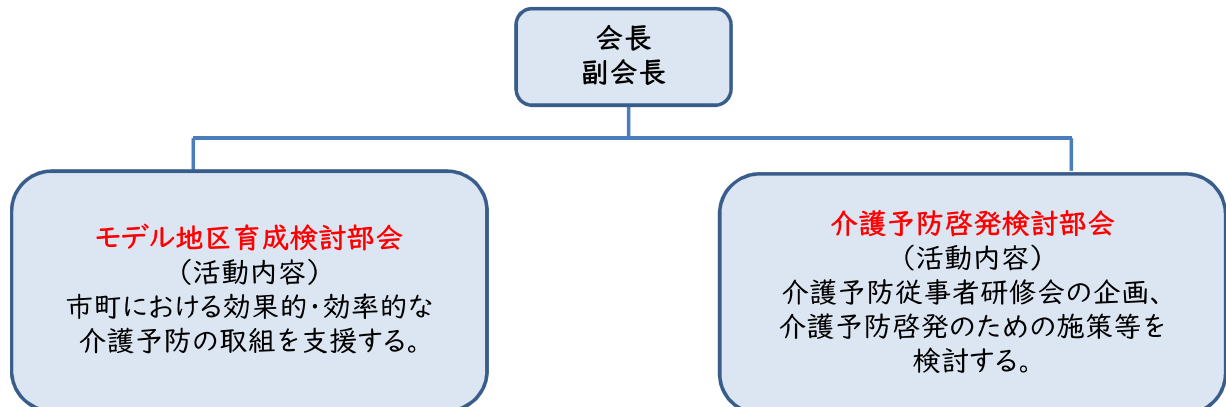


3

これまでの愛媛県介護予防市町支援委員会の活動について

H28年度頃の活動

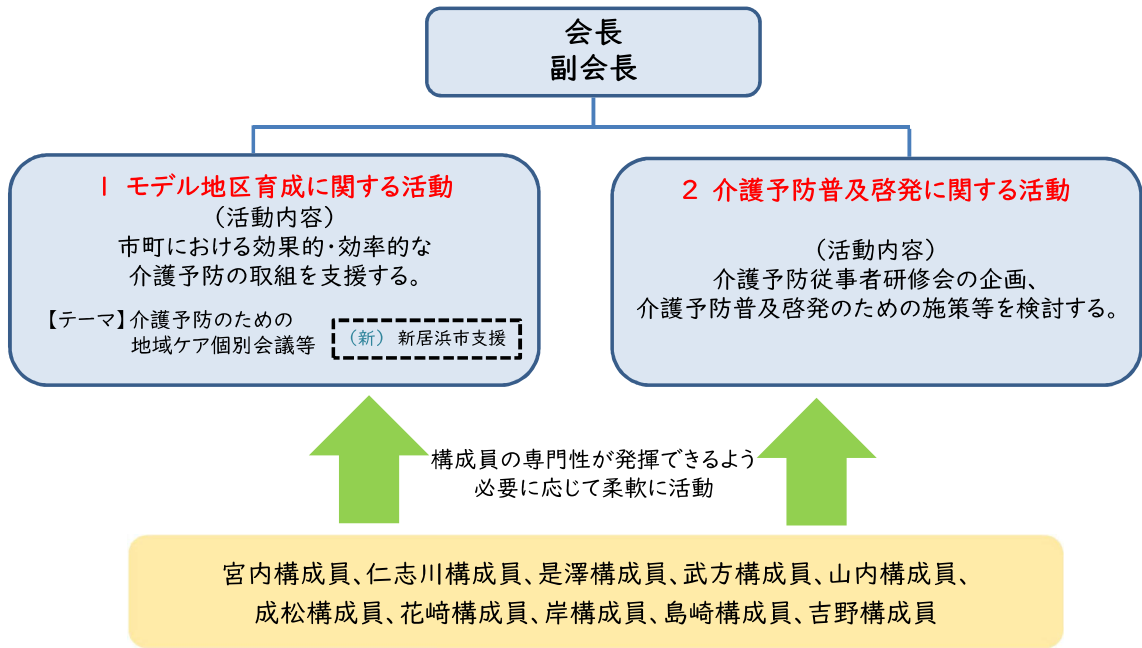
- 専門部会を廃止し、委員の人数や職種の見直しを行い、新たな支援体制を構築



4

令和6年度 介護予防市町支援検討会の活動

- 平成18年度から市町の介護予防の取組みを推進するために、市町支援を行ってきたことにより市町自身で活動を展開できるように。
- 構成員は、「モデル地区育成に関する活動」と「介護予防普及啓発に関する活動」を、構成員の専門性が発揮できるように、市町のニーズや必要に応じて柔軟に活動する。



今後の介護予防市町支援検討会について

【活動の変遷】

これまでの会の活動として、愛媛県版の「介護予防に関する指針の作成」や「介護予防複合プログラムのマニュアル作成」を行う等、先導的役割を果たし、その後も、その時々々の市町の状況やニーズを踏まえ、形を変えながら継続して市町支援を行ってきた。

現在、各市町の取組は多様化しており、「県内全体への提案や情報発信」から「保険者のニーズに合わせた、きめ細かい支援」という内容に変化している。

【今後の活動のイメージ】

本会と部会に分けて活動するのではなく、個別支援や研修会の講師や報告者等には、構成員のほか、その時の事業内容によってそれ以外の外部の支援者も選出・依頼していく。

